

時 論



大日本土木協會を確立せよ

中 川 幸 太 郎

我國工業方面の既存團體には何々學會何々協會と稱する代表的のものが三十二計りあるのであります。其の何れも直接事業を経営するやうな經濟團體でも亦産業團體でもありません。寧ろ此等の事業なり企業なりを指導啓發すべき團體であります。又其の何れも科學を基礎と致しまして、我國工業文化の向上發展に貢獻せんとする文化團體でもあるのであります。而して科學なり技術なり行政なりの調査研究指導と會員相互の向上發展と親和とを期するを以て目的としてをるのであります。土木協會あり、土木學會あり、港灣協會あり、河川協會あり、砂防協會あり、水道協會あり、鐵道協會あり、道路改良會あり、道路技術協會あり、土木工業協會あり、技術協會あり、電氣學會あり、電氣協會あり、電氣通信學會あり、照明學會あり、動力協會あり、鐵鋼協會あり、鑄物協會あり、金屬學會あり、熔接協會あり、火兵學會あり、鑛業會

あり、建築學會あり、造船協會あり、機械學會あり、冷凍協會あり、衛生工業協會あり、工業化學會あり、工學會あり、工政會あり、地震學會あり、公園綠地協會あり、といふ風に實に我國現代科學オンパレードの感があるのであります。

而して大體に於て其個性使命を異にするものと同一個性使命を有するものとがあり、又官吏のみの會員になれるものと民間會員のみになれるものと官民合同の會員になれるものとがあります。又縦に連絡出來ても横に出來ざるものと、横に連絡出來ても縦に出來ざるものと縱横に連絡出來るものなどが雜然として舊時代の要求に應じ亂立し互に各個性の優越觀を争はんとするが如き傾向があるのであります。

二

今や世は擧げて近衛聲明の根本理念に基き國家國民生活の全領域に互つて新體制を確立すべき時代となつたのであります。私は少くとも土木といふやうな同性同族にして同一個性使命を有します。土木協會、土木學會、港灣協會、道路改良會、道路技術協會、河川協會、砂防協會、水道協會、鐵道協會、土木工業協會、といふやうな既存團體は此際進んで發展的合同をしまして全國縱横に進んでは大東亞縱横に連絡統制をなし有機的の活躍をなし得るところの大日本土木協會、又は大東亞土木協會とも稱するが如き有力なる全體組織に改組し之れに融合統一すべき時機が到來したのではなからうかと思ふのであります。

一つの港灣計畫を見ましても河川あり、河口あり、運河あり、墜道あり、水道あり、鐵道あり、道路ありでありまして土木技術と土木行政の調査、研究、指導と其發展向上を本質とする所に融合統一せられざる理由は更にないのであります。我國土木技術者中には内務省系土木官吏約壹萬人、他官廳土木官吏約三萬人、市町村土木吏員約五千人、民間會社土

木技術者約壹萬人、請負關係土木技術者約四萬五千人、合計約十萬人の土木技術者があるものと推定することが出来ます。而して官民に二分すれば官吏に屬するもの約四萬五千人民間約五萬五千人の割合となるのであります。即ち指導監督の上位に屬する土木技術官吏、四萬五千人に對し被監督の下位に屬する民間土木技術者五萬五千人となるのであります。換言すれば四萬五千人の上意は五萬五千人の下級技術者へ下達されつゝあるものと考ふることも出来ませんが、又五萬五千人の下意を上達せしむべき手段方法は未だ充分に考究せられて居らないものと考ふることも出来るのであります。

三

かゝる情勢を誘致せしめたる主なる原因として考へられますのは民間土木技術者の多くは企業者の使用人として自己の創造的個性が拘束され純技術者としての使命を昂揚するの機會が乏しい計りでなく企業者に追従せざるを得ざる立場にあるものが多いのであります。又官吏は、民間土木技術者中には請負事業の如き投機的利潤追求の業務に従事するものが多から彼等と親和を計つては一般社會の疑惑を招くことを恐るゝの餘り敬遠の態度に傾き易いのであります。さりとて利潤追求の投機的請負事業を根絶せしむべき制度たとへば實費精算請負制度を確立せんとする勇氣にも乏しい嫌ひがありまして此等の諸點が土木技術者官民總親和といふやうな目標を阻止しつゝあるものとも考へられるのであります。

今や國家機關に於ても科學の振興に重點を置かれ綜合的指導機關の確立に邁進せられつゝあるとき、其の發明調査研究の結果を實踐せしむべき下部組織が現在の如き官民對立の如き諸團體となつて居つたならば新體制による實踐網として頗る不徹底の嫌ひがあるのであります。

智能、財産、環境等の相違はあらうとも皇道精神に歸一すべき國民に上下の區別がある筈はなく官尊民卑の舊思想に捉

はるべき筈がないのであります。須らく官民對立の體制や官民離間の舊秩序は解消放棄に努めなければならぬ時代となつたのであります。

而して全國土木技術者の總親和と其の職分的奉公精神の涵養と、土木技術なり土木行政の調査研究指導と土木文化の向上發展とを唯一の目的とする。強固なる全體組織を確立せんことを希望するものであります。

四

現在各土木團體が所有する所の基本財産の如きは元來土木文化の向上刷新の目的の爲に集められたる基金でありますから其多寡を論せず一ヶ所に集めても差支ある筈もなく、又會員は全國土木技術者は勿論土木に贊助するもの全部を抱容して其の機關雜誌の如きものも一本建とし之れに高等部初等部の二種類位に統制發行する様にすれば質量共に嚴選節約を期する事が出來餘力は他の幾多の有利なる目標に向つて集中することが出來るのであります。

而して近衛新體制が確立しましたならば其の中央本部、地方本部、地方支部等へ又此等に附隨する中央地方、道府縣郡市町村協力會議とも稱すべきものへ個人の資格を以て夫々指名を受け參加協力することが出來、上意下達の機關にも下意上達の機關にも我國唯一の土木文化向上發展の指導推進團體として認識されるやうな全體組織を確立することが焦眉の急務であると信するものであります。

又現在の各土木團體は既に公益唯一主義の團體でありますから、此際官僚的命令や法的強制を以て改組變更を強要せらるゝ必要な團體でありますから會員自身の自力によつて改組強化し近衛新體制に何時たりとも即應協力し得る態度を堅持せなければならぬ。之れが爲めには會員各自は一切の私心を去り過去に泥まず自我我執の心を捨て個々の立場に捉は

れざる所の一大決心と誓約の下に斷行せなければならぬことは申すまでもありません。又此の目的達成の爲めには指導者として潑刺たる文筆と無限の活動力を有せらるゝ愛國の士の御奮起を切望するものであります。

五

然しながら指導的愛國の士は必ずしも天才エキスパート視さるゝ者にのみ期待するものではありません。物的エキスパートのみが先行し精神的健全分子が遅れ勝ちなるが爲めに才智のみによる慢心から來る精神上の缺陷にわざわざいされて健全なる精神と率先躬行的の人物が天才エキスパート中に乏しきを憂ふるものであります。

我等が希望する指導者としては智能は必ずしも第一義のものではなく眞に皇道精神に燃え必死生還七生報國を期する青年土木技術者に期待するものであります。

恰かも三十才のヒットラーがナチス體制を創設したるが如き勇氣にも劣らざる我國青年技術者独自の御奮闘御活躍に期待して茲に強力なる全體組織を確立せられんことを希望して止まざるものであります。

而して新協會員が擧つて我國土木文化の向上發展を期するは勿論進んでは大東亞共榮圏の各國土木文化の指導力となり推進力ともなつて大政翼賛の大使命を貫徹せられん事を祈願するものであります。

以上